



国内研修

第一次事前研修

(1)日時:2013年6月16日(日)10:00-17:00

(2)目的:①JICA事業(技術協力・有償資金協力・無償資金協力)についての理解を深める。

②教師海外研修全体の趣旨・目的を理解し、目的意識を明確にする。

③海外研修の概要を知り、研修全体の理解を深める。

④開発教育に関する知見を深める。

⑤派遣国の知見を深める。

(3)プログラム内容

時間	内容	講師
10:00-11:30	オリエンテーション ●あいさつ ●関係者紹介・参加者自己紹介 ●教師海外研修の全体概要説明 ●JICA事業概要説明 ●現地スケジュール(案)の説明 ●公用旅券/ブラジル査証関連書類作成・提出	JICA 関西
11:30-12:30	ワークショップ① ●開発教育概論 ●持続可能な未来を創るために ●開発(研修テーマ)について	ボルネオ保全トラストジャパン 理事 荒川共生氏
12:30-13:30	昼食・休憩	
13:30-15:30	ワークショップ② ●ワークショップ手法の習得	荒川共生氏
15:30-16:30	JICA ボランティアの目を通して見たブラジル ●訪問国の文化や風習について知る ●JICA ボランティアの活動について知る	JICA ボランティア経験者 [ブラジル]日系社会青年ボランティア 小西三枝氏
16:30-17:00	渡航手続きおよび事務連絡	JICA 関西

参加者の声

- ◇色々なワークショップを体験して学ぶことができよかったです。ありがとうございました。
- ◇日頃の教育活動に伝える様々な手法を知ることができて、とても勉強になりました。
- ◇日系ブラジル人のことなど、具体的にお話が聞けてよかったです。ありがとうございました。
- ◇ブラジルでの研修がとても楽しみになりました。
- ◇多くの出会い、発見学びを期待しています。森林破壊や水について等の環境問題、日本とブラジルのつながり、そして貧困問題についての理解を深めることを楽しみにしています。
- ◇ブラジルの生活・文化にたくさん触れ、人と出会う中で新しい発見をしたいと思います。3か所の地域の違いも知って、ブラジルの広さも感じ授業づくりに生かしていきたいです。
- ◇今日の研修だけでも、たくさん学べて面白かったので、これからが楽しみです。



第二次事前研修

(1)日時:2013年7月6日(土)10:00-7日(日)16:30

- (2)目的:①派遣国に関する知見を深める。
 ②教材・手法の活用について学ぶ。
 ③研修のテーマを設定し、実践授業をイメージする。
 ④参加教員同士の研修目的の共有を図り、事前準備について明確にする。
 ⑤海外研修までの準備(役割分担・渡航手続き等)を行う。

(3)プログラム内容

[第1日目:7月6日]

時間	内容	講師
10:00-11:00	渡航ブリーフィング ●研修日程、訪問先について	JICA 関西
11:00-12:30	ブラジルの方から見たブラジルと日本 ●訪問国の置かれている現状や、日本との関係に関する知識を深める ●訪問国に対する理解を深める ●ブラジルの方から見た日本の印象を知る	兵庫県産業労働部国際局 国際交流課 外国人国際交流員 ルシアナ ローザ シルバ氏
12:30-13:30	昼食・休憩	
13:30-16:30	過去参加教員による報告 ●過去の研修内容報告・実践授業報告 ●改善点や反省点 ●事後の JICA や本研修との関わり ●現在の開発教育への取り組み	2012年度参加 [カンボジア] 東近江市立玉緒小学校 伴 英孝氏 神戸市立東町小学校 石動徳子氏 [サモア] 兵庫県立芦屋国際中等教育学校 岩見理華氏 淡路市立津名中学校 石上温子氏
16:30-17:30	ふりかえり	
17:30-19:00	夕食・休憩	
19:00-21:00	グループワーク 役割分担、訪問先での参加型研修の意味を理解し、準備を進める。 ●日程確認 ●班分け、役割分担 ●研修実践案の作成	参加者

[第2日目:7月7日]

時間	内容	講師
9:00-9:45	海外研修について ●事前準備や海外研修について理解を深める ●ブラジル事務所とのテレビ会議	JICA ブラジル事務所 小林千晃氏
10:00-12:30	ワークショップ① ●過年度本事業参加教員等も交えての貿易ゲーム	荒川共生氏
12:30-13:30	昼食・休憩	
13:30-16:00	ワークショップ② ●授業実践に向けたカリキュラム作り ●研修成果を授業に取り入れる際の留意点の確認	荒川共生氏
16:00-16:30	事務連絡 ●出発までの予定および帰国後のスケジュール ●報告書について	JICA 関西

事後研修

- (1)日時:2013年8月25日(日)10:00-16:30
- (2)目的:①海外研修で得た経験を教員間で共有する。
 ②海外研修で得た経験や教材を整理する。
 ③授業づくりのヒントを得る。
 ④実践授業に向けたカリキュラムを作る。
- (3)プログラム内容

時間	内容	講師
10:00-11:00	資料整理・教材共有 ●海外研修を振り返り、参加者同士で体験を共有する	京都市立堀川高等学校 大槻一彦氏
11:00-12:30	授業作りについて ●指導案を作るときの注意点、教材化のヒントなど ●教師海外研修で得た素材を実践授業用に整理する ●参加者同士で素材を共有する	本事業過去の参加教員 柳学園中学・高等学校 山中信幸氏
12:30-13:30	昼食・休憩	
13:30-16:00	実践授業の計画作り ●整理した海外研修の素材を使って指導案を作成する	大槻一彦氏
16:00-16:30	事務連絡	JICA 関西

参加者の声

- ◇ 開発教育とは何か、ぼんやりと考えていたことを再確認することができた。様々な活動を通して納得した。
- ◇ 伝えることばかり考えていたが、それでは生徒の心に響かないことに気付かされた。改めて自分の授業について考えることができた。
- ◇ 自分自身の抜け落ちている視点に気づかされました。
- ◇ なんとなくあったイメージやブラジルの印象を言葉にすることで頭の中で整理することができた。
- ◇ いろいろな視点で授業の計画を立てていて、刺激になった。
- ◇ みんなと情報交流できてアイデアも広がりました！
- ◇ チームのみなさんの授業案が聞いて参考になりました。
- ◇ 仲間みんながどんなことを考えているのかわかったので、とてもよかったです。
- ◇ みなさんの計画を聞き、参考になりました。
- ◇ しっかりと時間をとってもらい、授業計画作りがはかどりました。
- ◇ 自分一人だと迷ってしまうけれど、他の先生方の話がヒントになり展望が見えたり、写真や情報が共有できたりしてとてもよかったです。
- ◇ 授業を考える時間を確保でき、みなさんの意見を聞ける場が持てたことが良かったです。日頃指導書や教科等で大枠が決まっている中で授業をしていますので、一から授業づくりを計画するのは楽しいです。

